

2018 年度博士前期課程「陸域水循環システム論 I」

○講義の内容

- 担当：三隅良平（連携大学院教授）
- 時限・教室：春 AB、2 時限（10:10～11:25）、総合研究棟 A・217B
- 概要：水循環システム研究の基礎となる降水プロセスの理論について論じる。
- 学習目標
 - 熱力学第 1 法則、第 2 法則を十分に理解し、その応用として雲物理現象を理解する。物理法則を通じて自然を見る眼を養う。
 - 降水リモートセンシング（レーダ等）のターゲットである雲や雨について、その基本的な特徴を知る。
- 教科書："A Short Course in Cloud Physics" by R.R.Rogers & M.K.Yau（各講義において使用する分のコピーを配布します）
- 講義日程
 - 第 1 回 4 月 16 日(月) ガイダンス、最近の雲研究のトピックス、
 - 第 2 回 4 月 23 日(月) 乾燥空気の熱力学、
 - 第 3 回 5 月 7 日(月) 水蒸気とその熱力学効果、
 - 第 4 回 5 月 14 日(月) 雲の観測から見た特徴、
 - 第 5 回 5 月 21 日(月) 雲粒の生成、
 - 第 6 回 5 月 28 日(月) 凝結による雲粒成長、
 - 第 7 回 6 月 4 日(月) 凍結のない雲における雨の発生、
 - 第 8 回 6 月 11 日(月) 氷晶の生成と成長、
 - 第 9 回 6 月 18 日(月) 雨と雪、
 - 第 10 回 6 月 25 日(月) 気象調節
 - 第 11 回 7 月 2 日(月) 期末試験
- その他
 - ・ 講義資料は毎回配布します。過去の講義資料、その他連絡事項については
<http://mizu.bosai.go.jp/wiki2/wiki.cgi?page=rikuiki1>
に掲示します。ファイルのパスワードは"cloud"
 - ・ 講義内容の質問など、随時 misumi@bosai.go.jp まで
 - ・ 成績は試験および出席状況で評価します。
(試験問題は講義中に行った演習問題から出題します)